2024 Reading and Writing 2A（田中）

【要約課題】Chapter 5-1 (p.26)

提出期限：7月2日（火）23:59

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 学籍番号 |
| 栗山淳 | 8223036 |

＊Chapter 5 (p.26) の各段落の要約を書きましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段落 | 行数 | 要約 |
| 1 | ll.1-4 | 香港と台湾の元総統と幻想等が個運月海外訪問を行い，その海外訪問はアメリカと中国の間の緊張が選挙に影響を与えることを示している。 |
| 2 | ll.5-9 | 蔡英文総統はアメリカ滞在中にケビン・マッカーシー米下院議員長らと会談し，同時期に馬英九元総統は台湾の元総統として初めて中国を訪問した。 |
| 3 | ll.10-13 | 1986年に設立された蔡氏の民進党は台湾のナショナリズムを支持し，米国との関係強化を目指している。対照的に，馬氏の国民党は中国との関係構築を重視している。 |
| 4 | ll.14-17 | 蔡氏とマッカーシー氏の会談委ついての世論調査では，訳61％が支持し，22％が不支持だった。馬氏の中国訪問は，賛成39％，反対43％で意見が分かれた。 |
| 5 | ll.18-20 | 蔡氏とその支持者は，マッカーシー氏との会談を台湾の外交権利の例であり，安全保障に重要だと見なしている。 |
| 6 | ll.21-24 | 蔡氏は米国議員との会談が台湾海峡の安定と地域平和に貢献すると述べた。 |
| 7 | ll.25-31 | 馬氏は記者団に対し，中国との平和構築を追求しなければならないと述べた。調査では多くの台湾人が蔡政権の米国との関係強化を支持しているが，一部は中国kとの緊張が高まることを懸念している。 |
| 8 | ll.32-39 | 米国政府は1979年に一つの中国政策を採用し，台湾が中国の一部であるという中国の主張を認めつつも，双方が平和的に解決することを望んでいる。 |